

みどりの学 習 プロジェクト

現在、「みどりのヒント集」として、各プロジェクトの昨年度の活動をまとめています。

先月に行われた「みどりのカーテンづくり講習会」で、この「ヒント集」の一部をテキストとして使用しました。

今後も、交流会の活動経験をもとに記事を積み上げ、よりよい「ヒント集」を作成していきます。また、各種研修等の案内もいたしますので、どうぞご参加ください。

みどりのカーテン・プロジェクト

去年実施した「ゴーヤ・プロジェクト」を、今年は、新たにヘチマやヒョウタンなど種類を増やして、「みどりのカーテンプロジェクト」へと発展させました。

みどりを増やす活動と、地球温暖化防止に役立てる取り組みに去年を上回る数の小学校、幼稚園、保育所に参加していただいています。植え付けから大きく育つまで、子どもたちがお世話します。今年も多くのおみなさまの参加をお待ちしております。

豊中みどりの交流会

=こんな活動やっています=

地域緑 Book プロジェクト

みどりの活動をされている団体に体験参加して、地域緑 Book を作成しています。

2月16・17日には、竹炭プロジェクトさんの活動地千里中央公園の竹林にお邪魔しました。竹の生長が早く、整備が追いつかないため、市と協働して月2回の間伐作業と公園全体の保全をされています。竹林整備で竹を守りながら、竹炭焼きは年10回くらい行っています。また地域の緑を守る活動にも取り組んでおられます。

「うちの団体の活動取材してほしいな～」という、ご希望がありましたら、お知らせください。

花 苗 プロジェクト

4月に、「ふれあい緑地芝生広場2飛び地」に育苗棚6基、ビニルハウス1棟が完成しました。ここは愛称「ふれあい広場SEED」として、育苗拠点、コミュニケーションの場として、みんなが利用できる広場として育て活用していきます。

5月には春蒔きの種子のポット上げをし、私たちが活動している公園、まちかどに植え付けをしました。また今年度は、「挿し芽」に挑戦し、春・秋蒔きの花苗のほか、宿根草や花木も増やす計画です。



豊中みどりだよりは、みんなで、どんどん、りょっか(緑化)しよう!という意味を込めて、豊中市でみどり活動を進められている方に向けて発信するニュースです。

Tiga

Toyonaka Green Action

豊中みどりだより第7号

特集 小学校の環境教育



かたつむりのひとりごと

ひとりごと

森が火事になった。
逃げ惑う動物たちの間を縫い、一羽のハチドリが懸命に行ったり来たりしている。

ハチドリは口に水を蓄え、火の上にひとしずくずつ水を落としていたのでした。他の動物たちはそれを見て笑いました。

「そんなことやって何の意味があるの?」

ハチドリは答えました。

「ぼくは自分にできることをしているだけだよ。」

(アンデス民話)



豊中みどりの交流会

全体会議のご案内

今回は、下記日程で開催します。

ふるってご参加ください

- 日時: 2009年8月30日(日)10:00~12:00
- 場所: 花とみどりの相談所
- 内容: 話題提供
各プロジェクト活動報告
情報交換会

編集後記

つゆ時になり雨が多くなると、なんとなく気分が優れなくなりますが、『ふれあい広場SEED』ができて、私たちの活動も独自の取り組みへと発展し、みんなの気持ちもまとまりやすくなりました。ゴーヤ、ヘチマ、ヒョウタンや花苗などを育てようと私も共に奮闘中です。種から苗にする楽しさと苦労の一環が身をもってよく解ります。発芽のときは嬉しく、感動を覚えます。

小学校でゴーヤを育て、みどりのカーテンづくりの取組みで指導に奮闘している会員さんたちの苦労がうかがえます。私もその一部でもお役に立ちたいと、作業に参加させてもらっています。まだ要領が掴めず足を引っ張っているのではないかと思います。少しでも役に立つようにがんばります。

(寺島)

『ふれあい広場』

SEED

豊中みどりの交流会の新しい活動拠点として、ビニルハウス及び育苗棚を整備しました。愛称は『ふれあい広場SEED』です。

現在、育苗等を行っています。場所は豊島温水プール駐車場前です。(左図参照)

今後、この『ふれあい広場SEED』でイベント等もできれば...と考えていますので、よろしく願います。



「みどりのカーテンの取り組み」

今年度、地球温暖化防止、ヒートアイランド現象の緩和の観点から、市内23校の小学校や保育園など11の施設でゴーヤを使った『みどりのカーテンづくり』に取り組んでいただいています。

実体験を通じ“みどり”とふれあい、環境問題を考えるきっかけ作りのお手伝いをすることができました。皆さんが使っているエアコンなどの便利な製品が、実は地球温暖化を引き起こす原因の一つであり、それを知るための学習としてみどりのカーテンを作って「あっ、みどりのカーテンは陰の部分がけっこう涼しいな、エアコンを使わずに、教室を涼しくできるんだ」ということを知ってもらって、環境問題への興味を引き起こすことができました。



昨年度は、6校の小学校で授業の一環として取り組んでいただけました。

多い学校では100名近くの児童が植え付け体験を行いました。4年では“つる性植物の育て方”を学びます。5年生は環境教育の一環として、千里川や天竺川などで自然観察体験、また稲作作業体験もしています。

実ったゴーヤを使って料理をして自分たちで育て収穫し、調理することで、満足感・充足感といったものが得られ、苦手なものでも、残さず食べることができるようになっていきます。

ゴーヤは「苦くて嫌いだ」と言っていた児童も、自分たちで育てたゴーヤは「おいしーい」と言うよ

うになったそうです。また、ある学校では、5年生の発案で「ゴーヤ茶」をつくり楽しんだそうです。



子どもたち以外にも、豊中愛和会『あすなる』(生活介護)の皆さんに『みどりのカーテンづくり』に参加していただきました。

ベランダの花壇に植えて、仲間と職員で毎日水遣りをしながらお世話をされました。つるが高く伸びて実が大きく育っていくようすを毎日観察し、楽しみにされていました。収穫したゴーヤは近所の人にもおすそわけし喜んでもらえたそうです。

ゴーヤチップスにして皆で食べ、「やっぱり自分たちで育てたゴーヤはおいしいな、今年もみんなで育てたいな」と仲間の思いがまとまったそうです。

渡辺義広さんからのお話。『あすなる』の方々の笑顔が目につかびます。

(文：入江忠徳)



豊中のみどりの団体紹介 シリーズ 竹炭プロジェクト ～竹炭焼き、入隊体験記～

豊中市内には竹炭に関する団体が3つあります。そのひとつ竹炭プロジェクトさんの活動に体験参加しました。

2月16日、朝9時過ぎに千里中央公園・野外炊さん場に行き、竹炭焼きに海堀さんと2人で初めて参加しました。すでに準備が進められており、ドラム缶を2重にしたような鉄製の容器が置かれています。あらかじめ乾燥して75cmに切った割り竹を、内窯にぎっしり詰めて、蓋をして泥で密閉し、全体に土をかぶせて竹炭焼窯の完成です。外窯に火を入れていよいよ炭焼きが始まりました。強火で夕方まで焼き上げ、一晩ゆっくりと冷やすと竹炭ができ上がります。

炭焼きの作業の合間に、体験入隊された公園みどり推進課の横田さんはじめ4人の方も加わって、竹を間伐する作業に挑戦しました。込み合って生える竹、斜めに伸びた細い竹などをノコギリで切り取って、竹林を整備しました。たった1時間ほどの短い時間でしたが汗ばむほどで、何か良いことをした気分、後のお茶とカリン糖はたいへんおいしかった。



(団体の概要)

NPO法人とよなか市民環境会議アジェンダ21自然部会が、豊中市の貴重な雑木林を守るために、雑木林や竹林の整備を行ってこられました。その際に間伐した竹が焼却処分されていることを知り、10年前に竹炭プロジェクトを立ち上げ、竹炭にできないかと取り組みを始められました。

6年前から、千里中央公園・野外炊さん場に場所を確保し、定期的に公園内の竹林整備と竹炭焼きを行ってられます。

竹林整備の間に炭焼きが進み、内窯の煙突から白い煙(蒸気)があがりはじめ、竹筒で冷やすとボトリ、ボトリと茶色の液がしたたり落ちてきます。これが竹酢液の原液です。



翌日、窯を覆っていた土を取り払い、いよいよ竹炭の取り出し作業です。温かいうちは竹炭が折れやすいので、注意深く窯出しします。保管ケースに慎重に納め、後日カット、ブラシがけすると竹炭の完成です。

今回初めて竹炭作りに参加しましたが、豊中の雑木林を守るため竹林の整備を行い、竹炭を作る一石二鳥の活動をされているプロジェクトの皆さんに感謝し、またいつか挑戦してみたいと思います。

『竹炭』は無数の孔があるため、消臭剤、除湿剤などに使われています。また、園芸用として粉碎した竹炭が、土壌の通気性向上に使われているそうです。

『竹酢液』は酢酸が主成分で、殺菌効果があるため植物に葉面散布して、害虫駆除などに使われています。

T・Yoshida

- 登録人数：19名
- 活動場所：千里中央公園(竹林整理中心) 千里緑地(竹きり中心)
- 活動日時：不定期(月2回)
- 連絡先：NPO法人とよなか市民環境会議 アジェンダ21 06-6863-8792